

つながる今が、未来を開く！

山形南高校東京同窓会報 2026

T O K Y O R e u n i o n L e t t e r



写真：南高写真部3年 武田 和朗

Contents

レジェンド訪問記

南高祭—— 南高新聞部企画

南高写真部ギャラリー

南高同窓生の交流会

南高人往来・同窓生通信

令和7年度総会・懇親会

ごあいさつ

コラムニスト
峯田淳の
おらが南高の
レジェンド訪問記

松田優作で撮った 遊戯シリーズの最新作 「最後の遊戯」

村川 透 監督 (南高5回卒)



日本のハードボイルド映画の金字塔といえば、村川透監督、松田優作が主演を演じた「最も危険な遊戯」「殺人遊戯」「処刑遊戯」の遊戯シリーズ、その後の「蘇える金狼」「野獣死すべし」といった一連の作品である。村川監督はテレビの「大都会」シリーズなどでも松田とコンビを組むなど日本映画、テレビドラマの世界で異彩を放つ。

7年前には「レジェンド訪問記」の第1回にご登場いただき、今回は2度目。村川監督は伝説的な遊戯シリーズの最終作として、第3作「処刑遊戯」(79年) から40数年ぶりに新作「LAST DANCE 最後の遊戯」が公開される。子供時代、南高時代から大学へ。そして新作について伺った。

昨年亡くなった兄・村川千秋 (山響の指揮者) のためにモニュメントを

37年(昭和12年)、村山市生まれ。南高5回卒。兄で山形交響楽団の指揮者だった兄・千秋は南高1回生で1年前に亡くなった。「オレたちが生まれ、育った時代は皇国2600年(昭和15年)の頃。家族の絆は何ものにも代えがたいと思ったし、兄のためにも何かやってあげたいと思っています。ここ(運営する『アクトザールM.』)にモニュメントでも残さないで死んでも死にきれません」と想いを語る。

生家は村山・楯岡の大きな庄屋で、地元の名士、実力者の家に生まれた。監督の子供時代は全国に各地に映画館があった時代。実家は芝居小屋を持ち、分家は映画館「楯岡座」の劇場主でもあった。

「戦時中は軍歌とともに戦時高揚映画と同時にチャンバラ映画が上映されていた。でも、それだけじゃなくてここはお茶屋だった場所。親父が浅草(東京)で買ってきた怪しげなフィルムをつなぎ合わせ、旦那衆を集めて幻灯機で上映会をやっていたんです。階段下に小部屋もあって外に灯りが漏れないようにして。子供

は見せてもらえなかったけど、男女の怪しい雰囲気は伝わってきました。それからチャップリンとか喜劇映画。映画は素晴らしいし、半面は悪への誘い。でも、奥が深いと感じました」

終戦時は8歳。アメリカの占領下に置かれ、農地解放が行われた。「田んぼ一反歩が豆腐一丁」と言われたとか。裕福な大地主だった村川家は戦後の農地解放で没落し、土地を切り売りしながらの生活になっていく。父・幹太郎は国学院大を出た研究者であり教育者。跡取りの長男には絶対的な存在として教育を授けた。しかし、きょうだいの末っ子の監督は義務教育まで、「卒業したら丁稚に出るか、養子に行け」と判決文のように言い渡された。高校、大学に行くなら奨学金をもらえる



ように掛け合うからというのが親の申し伝えだった。

村川監督にとっての選択肢は後者。奨学金をもらって高校に行くとして、さて、どこから通うか。尾花沢出身の母親には妹がいた。後に女性で初めて山形県の教育長になった大場フサさん。そこが下宿先になった。フサさんは大場家に後妻に入った人で、先妻の子供二人がいたが、監督も可愛がってくれた。奨学金をもらいながらの下宿生活…。家を出る時は父親に「一生お金をもらわない」と啖呵を切って家を出たそうだ。

「先妻の二人の娘は東京の大学に通う優秀な人たちでね。帰省した時は親身になって勉強を教えてくれた。女学生だから映画の話も合いましたね」

当時、山形市内には映画館がいくつもあり、時間があると出かけていたそうだ。

実は、当時の監督は高校生活を謳歌する時間がないほど多忙だった。長女が仙台の砂糖や小麦粉などを扱う白物問屋に嫁いだ。戦後は丁稚が不足し、監督も仙台まで行き、姉の子供の面倒も見ながら、市内のデパートへの配送するアルバイト生活を送った。第一志望の東北大に入るための勉強どころではない高校生活…。

父親は大学に入ってから奨学金を続けてもらえるようにしてくれた。しかし、高い寮費がネックに。そこで志望を即戦力として働くことができる福島大学経済学部、元の福島経済専門学校に変えた。ハードボイルドの旗手が近代経済学を専攻とは意外な経歴である。

学生生活は兄・千秋の影響でサックスを吹いていたのでダンスホールで演奏のアルバイトもやっていたという。

故郷・村山でオールロケ、26年度内に公開予定

就職は日活。助監督生活を13年。デビューは72年の「白い指の戯れ」。人間国宝の金工家、高橋敬典の婿養子に。松田優作との出会いは76年。テレビドラマ「大都会 闘いの日々」の4回目のことだった。そ

の後、「お前と心中する」と言って優作を口説いた。

そして名作の一連のハードボイルド映画。ドラマは優作の大都会シリーズ以外にも、西部警察シリーズ、「あぶない刑事」「暴れん坊将軍」など高視聴率ドラマも監督している。その数合わせておよそ450本。「本当に仕事をやってきた」としみじみと語る。



そして40有余年の時を経て遊戯シリーズ「LAST DANCE 最後の遊戯」を故郷、村山を舞台にオールロケで撮った。新作は「さらばあぶない刑事」以来10年ぶり。公開は26年度中の予定。プロデュースは柏原寛司、脚本は「処刑遊戯」の丸山昇一と阪上有紀子。松田優作が演じた鳴海昌平と思わせる男を宇崎竜童、鳴海を追いかける元刑事を柄本佑が演じる。

「最後の遊戯」は村山市が地元のPR活動のために、ふるさと納税制度を利用したクラウドファンディングを行っている。個人（ふるさと納税）、企業（企業版ふるさと納税）などの方法で、希望者には寄付額に応じた特典がある。

村川透監督作品

「LAST DANCE 最後の遊戯」

映画支援のため寄附金を募集！

問い合わせ：村山市政策推進課

電話：0237-55-2111

https://www.city.murayama.lg.jp/shisei/zaisei/furusatonouzei/lastdance_nouzei.html



峯田淳（南高28回卒）

夕刊紙「日刊ゲンダイ」を経て現在、デヌエット代表。同紙ほかWEB媒体「デイリー新潮」「アサ芸プラス」、週刊誌連載コラムなど執筆中。編著「おふくろメシ」、著書「令和元年競輪全43場 旅打ちグルメ放浪記」、今夏には「猫のいる人生」(新潮社)発売予定



令和7年8月29日から31日にかけて、伝統の「南高祭」が開催された。
今年度も熱中症対策として、体育祭を7月11日・12日の2日間に分ける
別日程での実施となったが、生徒たちはそれぞれの舞台上で全力を尽くした。
南高祭スローガン『威南Z舞（イナヅマ）』のもと、南高生が一丸となって
駆け抜けた日々は、最高の盛り上がりとともに大成功に終わった。

体育祭

昨年とは一転し、今年は素晴らしい
晴天のもとで体育祭が開催された。
その青空に負けないほど、会場は
昨年以上の熱気に満ちていた。
各組の組頭はチームを力強くまとめ上げ、
全員が結束して競技に臨んだ。
さらに競技中の応援も凄まじく、
どの組も一歩も譲らない熱い声援で
会場を大いに盛り上げていた。



前夜祭

前夜祭では、駐車場の特設ステージを
中心に様々な企画が催された。
「足つぽPK」や「早食い対決」で
繰り広げられる白熱したバトルに大きな
笑いと歓声が起こり、会場が一体となって
盛り上がりを見せた。
また、毎年恒例となっている仮装行列では、
生徒たちが趣向を凝らしたユニークな衣装を
身にまとい、街へと繰り出した。その完成度の
高さに沿道の注目を一手に集め、道行く地域の方々へ南高祭を大いにアピールする絶好の
機会となった。



文化祭

吹奏楽部の演奏で幕を開けた文化祭。
今年も目玉企画である「N-1グランプリ」や
「生徒会ビデオ」の上映が行われ、
記念講堂は割れんばかりの歓声と熱気に包まれた。
また、出し物の合間に行われる南高の伝統となっている
「場繋ぎ」で、一瞬たりとも観客を飽きさせることなく、
終始講堂内を笑いの渦に巻き込んでいた。



一般招待

一般招待には、3年生のクラスや各部活による
模擬店が多数出店され、地域の方々や保護者
など多くの方々が足を運んでくださった。
毎年大人気の「ウォーターボーイズ」の公演や、
理科科によるクオリティの高い「おけ屋敷」
には長蛇の列ができ、校内の至る所で大きな
賑わいを見せた。そして祭りの終盤を飾ったのは、
恒例のフォークダンス。南高生たちは恥じらいを
見せながらも笑顔でステップを踏み、
他校の女子と交流できる貴重な時間を全力で
楽しんでいった。



後夜祭

後夜祭では、各部門長や実行委員が
南高祭を振り返って挨拶を交わし、
会場は笑いや感動で満たされた。
その後、夜空に色鮮やかな花火が
打ち上げられ、南高祭が大成に
終わった喜びを全員で分かち合った。
そして最後に執り行われた「応援団
引き継ぎ式」では、これからの南高を
背負って立つ覚悟が込められた
「大進撃」の力強い声が響き渡り、
南高祭は未来への決意
とともに幕を閉じた。



東京同窓会号に寄せて

同窓会の皆様、今年度も南高の様子を
お届けする機会をいただきありがとうございます。
このページを通して、活気あふれる南高生の姿を知って
いただければ嬉しく思います。先輩方が築かれた伝統を
受け継ぎながら、これからも生徒一丸となって
新しい南高を作り上げてまいりますので、
どうぞよろしくお願いいたします。



南高写真部ギャラリー

写真を通して、仲間と切磋琢磨し、自分の視点を磨いてきた部員たち。写真部員たちの力作をご紹介します。

全日本写真連盟創立100周年記念写真コンテスト 中高生の部

全日本写真連盟賞 3年2組 齋藤泰地 「fever」



第49回山形県高等学校総合文化祭写真部門

優秀賞 2年1組 武田和朗 (R8年度全国総文祭) 「距離感」

令和8年全国高等学校総合文化祭写真部門の参加権を獲得しました。



第49回山形県高等学校総合文化祭写真部門



3年2組 齋藤泰地 「道を行くもの」



3年6組 須田太志
「Veil of Plumage」



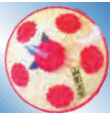
第16回高校生デジタルフォトコンテスト
準グランプリ 3年2組 齋藤泰地 「継承」

富士フィルムフォトコンテスト
学生の部

優秀賞 2年3組 樋渡奏輔

「燃え上がる闘志」





令和7年度 第87回やまがた県人まつりに参加

令和7年9月7日(日) ホテルニューオータニ「鶴の間」にて



山形県人東京連合会加盟団体 68 団体 (会員約 38,000 名) 参加者 647 名

総会の席上、南高9回卒の鈴木隆様に功労者感謝状が贈呈された



鈴木隆さんを囲んで



連合会の五十嵐会長と共に



やまがた県人まつり



東京同窓会代表参加

山形南高東京同窓会秋祭り2025

2025年11月29日(土)15:00~17:00 神田「のむず」にて



芋煮と山形のお酒を味わう会



参 加 者		
No.	氏 名	卒業回
1	毛利 昭	12 回卒
2	加嶋 隆夫	12 回卒
3	小松栄三郎	15 回卒
4	城戸口 隆	16 回卒
5	鈴木 徹	17 回卒
6	土田 和男	25 回卒
7	杉本 俊夫	28 回卒
8	長尾 正利	28 回卒
9	安孫子雅敏	29 回卒
10	大場 勝一	30 回卒
11	伊藤 和弘	32 回卒
12	高橋 達志	32 回卒
13	里見 好昭	32 回卒
14	笠原 精二	37 回卒
15	宮木 健二	38 回卒
16	今田 禎幸	41 回卒
17	矢口 賢	51 回卒
18	下山 亮平	51 回卒

(敬称略)



小松顧問大南高賞受賞を祝う

山形南高東京同窓会の交流会

 山形南高 東京同窓会

R8キックオフミーティング (新春の集い)

2026年1月31日(土) 15:00~18:00 池袋・蓮家に

No.	氏 名	卒業回	今年の抱負 漢字一文字
1	毛利 昭	12回卒	山
2	加嶋 隆夫	12回卒	会
3	小松 栄三郎	15回卒	忘
4	城戸 口 隆	16回卒	新
5	鈴木 徹	17回卒	楽
6	柿崎 廣幸	19回卒	喜
7	黒田 治彦	21回卒	一
8	鈴木 淳一	25回卒	熊
9	村岡 登	25回卒	健
10	土田 和男	25回卒	絆
11	杉本 俊夫	28回卒	笑
12	峯田 淳	28回卒	猫
13	安孫子 雅敏	29回卒	退
14	大場 勝一	30回卒	鍛
15	高橋 達志	32回卒	駆
16	伊藤 和弘	32回卒	遠
17	里見 好昭	32回卒	健
18	中村 孝二	32回卒	楽
19	佐藤 栄次	32回卒	忍
20	山田 健嗣	36回卒	破
21	笠原 精二	37回卒	躍
22	菊地 真治	38回卒	悟
23	青木 宏	39回卒	躍
24	庄司 真人	40回卒	役
25	川田 輝	40回卒	静
26	板垣 善紀	41回卒	合
27	浅黄 悠氣	45回卒	創
28	下山 亮平	51回卒	拍
29	矢口 賢	51回卒	程
30	細谷 南雲	66回卒	美
31	岡田 大毅	67回卒	運



何でもお気軽にご相談ください

黒田治彦税理士事務所

税理士・認定経営革新等支援機関・登録政治資金監査人

黒田 治彦 (南高 21 回卒)

Kuroda Haruhiko

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 2-14-2 雄邦ビル1階
Phone 03-3556-8068 Fax 03-5213-4667



E-mail:kuroda_zeirishi@ybb.ne.jp
Mobile:090-4964-7616



津野尾 肇
南高45回卒 山岳部

子供たちが高3、中3という節目にあり、受験サポートしております。
私は起業17年目でまだまだ忙しくしておりますが、そろそろ新しいことに挑戦しようと思い立ち、ピアノを習い始めました。



下山 亮平
南高51回卒 音楽部

こんにちは。下山亮平です。3月に久しぶりに故郷・山形で演奏してきました。
会場は寒河江市のカフェAnji、山形市七日町のNoisy Duckでした。
Anjiさんは南高時代の先輩の兼子浩典さんが勤める結設計工房さんが建築に携わったお店で、数年前に紹介していただきました。
両日とも同級生や先輩・後輩が来てくれて終演後も懐かしい話などで盛り上がり、掛け替えのない特別な時間を過ごしました。



岡田 大毅
南高67回卒 ラグビー部

株式会社企画日本を設立し「企画日本代表」として活動中。
ヤングカンヌ2度日本一の勝負強さで、アイデアの力でピンチをひっくり返す広告を制作しています。
山形県を東北地方の第一想起にするため奮闘中！



川田 輝
南高40回卒
ラグビー同好会・応援委員会

新潟に本社を置く建設会社に勤めて32年、自宅のある仙台の南高同窓会幹事も務めながら、現在は東京に単身赴任中です。
2025年11月には本部同窓会にも参加し、懐かしい先輩方や仲間達の前で、久しぶりに応援団長として空はコバルトを指揮させていただきました。



細谷 南雲
南高66回卒
バスケットボール部

東京で会社を経営し、映像制作やSNS運用の仕事をしています。企業PRや採用、広告関連の制作に携わりながら、日々新しい挑戦を続けています。



浅黄 悠氣(祐樹)
南高45回卒 野球部

現在は経営者向けの組織づくり支援を行う傍ら、青山一丁目で割烹「やまとこ」の運営にも携わっています。今年50歳を迎え、8月には『夏の50祭』を開催予定です。南高の仲間との再会を今から楽しみにしています。

祝 令和8年度 山形南高等学校 東京同窓会総会

東京弁護士会 令和8年度 副会長

弁護士 **菊 地 真 治**

(南高 38 回卒 野球部)

菊地真治法律事務所

東京都港区西新橋2丁目2番5号竹内ビル2階
電話：03-6205-7557 FAX：03-6205-7558



伊藤 和弘
南高32回卒

60歳で定年退職し群馬へ移住しました。勤務先の県立高校では南高野球部と交流があり、来年3月31日に練習試合に来る予定との情報を野球部監督に教えてもらい今から楽しみにしています。

叙勲・褒章受章



奥山 徹氏
南高12回卒・陸上競技部

令和7年春の叙勲で「瑞宝中綬章」(明治薬科大学名誉教授、元理事長)を授章。



日本貿易学会会長 就任!!

庄司 真人
南高40回卒 囲碁部

4月より亜細亜大学に移籍し、大学院研究科委員長に就任しました。5月からは日本貿易学会会長となり、また中野区の協議会会長も務め、学内外の活動に取り組みながら、新たな環境で充実した日々を過ごしています。

News!!

東京弁護士会副会長にご就任!!



菊地 真治 弁護士
南高38回卒 野球部

「本年4月、東京弁護士会副会長に就任。我々東京弁護士会は、常に市民の皆さまに寄り添い、身近な存在でありたいと思っています」と決意を語られております。



宮田 直斗
南高74回卒 野球部
(立教大学 3年生)

立教大学野球部でマネージャーを務めております。チームの運営を支えながら、選手たちとともに日本一を目指して活動に励んでいます。忙しくも充実した毎日を過ごしています。

東京六大学野球を 応援しよう

高木 道暉
南高75回卒 野球部
(東京大学 理1 1年生)

現在は東大野球部に所属しており、秋のリーグ戦やフレッシュトーナメントに出場できるように日々練習に励んでいます。また、行きたい学部に進学できるように勉強にも力を入れています。



都恋堂と申します。

時代にあったホームページや
会社案内、広告や広報物を制作します。



とれんどう

独自の調査やヒアリングで課題を抽出して、
最適なアウトプットを提案します。

組織でリーダー職を担う女性を応援する
自社プロジェクト「F30 プロジェクト」も展開中。

DE&Iのサポートもしています。ご相談はお気軽に!

事業承継しました!

南高30回卒



代表取締役
小林 奈巳



相談役
大場 勝一

TORENDYOU

株式会社都恋堂

〒160-0022 東京都新宿区新宿5-11-1 ホームスト新宿ビル 7階
TEL : 03-5369-3851 (みやこいちばん)
URL : <https://www.torendou.co.jp/>



令和7年(2025年)度

山形南高東京同窓会

2025年6月28日(土)
14:20 ~ 17:15
アルカディア市ヶ谷にて開催

総会・懇親会

つながる絆、未来へつなぐ南高魂!

タイムライン

■総会

- 14:20 司会挨拶
14:23 総会・議長挨拶 小松議長
議事進行① 令和6年度会計報告
(伊藤副会長)
会計監査報告(黒田常任幹事)
議事進行② 令和7年度活動方針、
収支予算

■懇親会

- 14:40 懇親会・開会の挨拶 小松会長
14:43 物故者への黙祷
14:45 校歌斉唱
エール 野川芳雄さん(南高25回卒)
14:50 来賓ご挨拶
●山形南高同窓会会長 吉田福平様
●山形南高校長 大沼 晋様
●山形県東京事務所副所長 今田禎幸様
●山形県人東京連合会会長 五十嵐長次様
15:05 乾杯 山口幸男さん(南高7回卒)
会食・懇談タイム
来賓ご挨拶
●南高スポーツOB会会長 村岡義啓様
●南高文化部OB会会長 豊田栄一様
南高進学状況報告
片桐秀昭様(南高12回卒)
15:50 参加者代表よりご挨拶
17:05 応援歌「空はコバルト」
伴 奏:ハーモニカ 小松会長
エール: 野川芳雄様
17:10 閉会の挨拶&花笠三本締め
伊藤副会長
17:15 終了・解散退場

久しぶりの再会に弾む声、尽きることのない思い出話、そして会場をひとつにする力強い応援歌。総会に続いて開催された懇親会は、世代を越えて南高の絆を感じる、笑顔あふれる時間となりました。先輩も後輩も肩の力を抜いて語り合い、あちらこちらで懐かしい話や近況報告に花が咲きました。最後は「空はコバルト」と花笠三本締めで大いに盛り上がり、南高魂が響き合う一日となりました。



総会・報告



議長挨拶
小松会長



会計報告
伊藤副会長



会計監査報告
黒田監事



来賓の皆様



南高同窓会
吉田会長



山形南高等学校
大沼校長



山形県東京事務所
今田副所長



山形県人東京連合会
五十嵐会長



スポーツOB会
村岡会長



文化部OB会
豊田会長

山形南高等学校東京同窓会総会



会長継承



応援歌「空はコバルト」!



乾杯!



会食・懇談



校歌の作曲者について



進学状況 報告



花笠三本締め

益々元気な
南高 12 周年



変化する社会に対応する「南高力」



山形南高等学校
校長 米野 和徳

東京同窓会の皆様には、日頃より本校教育に對しまして、物心両面にわたる多大なるご支援とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

この四月に第二十五代校長として着任しました米野和徳と申します。

簡単に自己紹介をさせていただきますと、中学校での講師経験を振り出しに、山形西高校、山形工業高校、山形南高校教諭として、また、教育委員会事務局、東校学館中学校・高等学校教頭や小国高校校長として勤務してまいりました。また、少し変わった経験としては、駒場にある独立行政法人大学入試センターに2年間出向し、試験問題企画官として、大学入学共通テストの立ち上げの業務に携わらせていただきました。昨年度までは二年間、微力ながら県教育次長として県教育長を補佐しながら、県全体の教育に関する業務に関わらせていただきました。これまでの経験を生かしながら学校経営を進めてまいりたいと存じます。

さて、今年度は二百四十二名の新生を迎え、各学年六クラスの計十八クラス七百十五名で新学期がスタートしております。

運動部は五月上旬に地区高校総体を終え、いよいよ陸上を皮切りに六月上旬からインターハイ予選となる県高校総体を迎えるところです。文化部については、文芸部、写真部、囲碁部が八月に秋田県で開催される全国高校総合文化祭に出場するほか、定期公演や定期演奏会に向け、練習に励んでおります。本校の校是の一つに「文武両道」があり、その実現を目指し、「師弟同行」で日々取り組んでおりますが、これは生徒と教員の努力だけで決して叶うものではなく、コーチや保護者、そして同窓生の皆様のお力添えがあつてのことと改めて感謝申し上げます。

社会が急速に変化しており、予測が困難な時代であると言われます。そういった中、未来を担う生徒たちは、先輩方が体現しておられるように、将来様々な分野でリーダー的な役割を担うものと思えます。本校では、これからの社会をたくましく生きていくために必要な資質・能力を「南高力」(学力・探究力・コミュニケーション力・協働力・自己管理能力)とし、教育活動の中でそれらの資質・能力の育成を図りながら教育目標の実現を図ってまいります。

結びになりますが、今後とも母校と後輩たちの活動にご注目いただきますとともに、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

山形県内大学入試ランキング (ダイヤモンドセレクト誌より)

	2018年 平成30年	2019年 令和元年	2020年 令和2年	2021年 令和3年	2022年 令和4年	2023年 令和5年	2024年 令和6年	2025年 令和7年
1	山形東	山形東	山形東	山形東	山形東	山形東	山形東	山形東
2	山形南	鶴岡南	鶴岡南	鶴岡南	山形南	米沢興	山形南	致道館(旧鶴南)
3	鶴岡南	山形南	米沢興	山形南	米沢興	山形南	米沢興	東桜学館
4	米沢興	山形西	山形南	米沢興	酒田東	酒田東	東桜学館	山形南
5	山形西	米沢興	酒田東	酒田東	山形西	鶴岡南	鶴岡南	米沢興
6	酒田東	酒田東	山形西	山形西	東桜学館	山形西	酒田東	山形西
7	長井	新庄北	新庄北	寒河江	鶴岡南	東桜学館	山形西	酒田東
8	新庄北	寒河江	東桜学館	新庄北	新庄北	寒河江	長井	新庄北
9	山形北	山形中央	長井	東桜学館	長井	長井	新庄北	日大山形



南高の進学状況報告 2025年6月28日(日)の総会で、片桐秀昭さん(南高12回卒)より南高の進学状況の推移を、「山形県内大学入試ランキング」の資料(ダイヤモンドセレクト誌)をもとにご報告いただく。

尚、有名大学合格者数は、東京科大、1名。北大、2名。東北大、8名。新潟大、35名。山大45名。(サンデー毎日2025.4.20号より)

(※今年度の南高生の進学状況は南高HPよりご確認ください。)

東京同窓会からのお知らせ

- 山形県人東京連合会主催 やまがた県人まつり
2026年9月6日(日): ホテルニューオータニ
- 本部同窓会総会
2026年11月13日(金): パレスグランドール

- 南高東京同窓会「秋祭り2026」芋煮と山形の酒を味わう会
2026年11月28日(土) 午後3時～午後5時: 神田・のむず
- 南高東京同窓会「R9キックオフミーティング(新年会)」
2027年1月30日(土) 午後3時～午後6時: 池袋・蓮家
- 令和9年度の総会・懇親会の開催予定
2027年6月27日(日) 13:00～16:00: アルカディア市ヶ谷にて開催予定

ご挨拶



山形南高同窓会
会長 吉田 福平

今年2月27日、237名が南高同窓会に入会し、学年幹事代表の富樫君が、これまでOBの皆様にお世話になった事を、これからは自分達もOBとして後輩達の役に立っていききたいという心強い挨拶をしてくれました。

3月1日卒業証書授与式の答辞を述べたのも、3年時生徒会長を務めた学年幹事の富樫君でした。彼は当初用意した原稿を見ながら話し始めたものの、原稿を閉じ、自分の熱く泥くさく汗くさかった南高生活は、飾った言葉ではなく、自らの言葉で話したいと、南高での思い出、友との絆、保護者・先生への感謝と感動する挨拶でした。SNSや全国ニュースでも流れ、さすが南高、と逞しく感じました。また、4月8日には、桜が満開の中242名の新入生が入学しました。新入生代表の挨拶は、昨夏の甲子園山形予選大会に足を運び

観戦し、選手と応援団が丸となり戦う姿を見て、自分は是が非でも南高に入りたいと思ったと、私達OBにとって感動を与えてくれました。

脈々と南高魂が受け継がれるのを嬉しく思います。

さて、昨年11月同窓会発足80周年の節目を「朱雀伝説―我が南高は永久に不滅です―」というテーマを掲げ、40回卒（平成元年会）、60回卒（群蒸会）が当番幹事を担い、約580名の参加のもと大盛況に終了することができました。東京同窓会からも、土田会長をはじめご参加いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

今年も11月13日開催に向け、41回卒（酔子（よいこ）会）、61回卒（無一物（むいちもつ）会）が準備を進めております。東京同窓会よりも多くの皆様のご参加をお待ちしております。

結びに、東京同窓会益々のご発展と会員皆様のご健勝ご多幸をご祈念申し上げます。

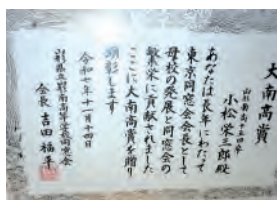
令和7年度「大南高賞」受賞

東京同窓会顧問(前会長)

小松 栄三郎 氏(南高15回卒)



平成30年から7年間、東京同窓会会長として東京同窓会の発展に貢献。



令和7年11月14日、本部同窓会総会で「大南高賞」授与
土田会長が代理授与、小松顧問からの御礼の言葉をお伝えする。

祝 令和8年度 山形南高等学校 東京同窓会総会

令和7年度 山形南高等学校同窓会役員

会 長	吉 田 福 平	(南高22回卒)	副 会 長	與 田 貴 博	(南高44回卒)
副 会 長	吉 村 和 文	(南高28回卒)	監 事	市 村 清 勝	(南高26回卒)
"	須 藤 勇 司	(南高29回卒)	"	須 藤 雅 人	(南高47回卒)
"	鈴 木 吉 彦	(南高30回卒)		(山南スポーツOB会長)	
"	武 田 良 和	(南高32回卒)	常任幹事	大 木 秀 夫	(南高24回卒)
"	山 口 敦 史	(南高40回卒)	"	(山南文化部OB会長)	
				豊 田 栄 一	(南高20回卒)



山形南高（山形市・二高） 東京同窓会報

題字：片桐秀昭様・南高12回卒

編集人

大場 勝一

発行人

令和8年6月28日発行
千代田区平河町2-16-3
山形県東京事務所内
山南東京同窓会事務局
土田 和男



コバルトの空

◆南高東京同窓会の会報誌をお読みいただき感謝申し上げます。南高生の活躍の報は嬉しい。伊藤副会長のSNSでの交流により、毎年若手の南高生との接点が増えつつあります。今後も南高生との絆

を拡大できる南高生参加型の会報誌の制作を目指してまいります◆総会に参加できない南高生への接点拡大の交流の場として、11月に秋の芋煮会や1月の新年会としてキックオフミーティングを継続開催、新たな南高生との絆を築いてまいります。地道な取り組みですが着実に南高生を糾合してまいります◆第22号は峯田淳のレジェンド訪問記に村川透監督が再登場。故郷村山市を舞台に映画作品「最後の遊戯」を制作、愛する故郷の活性化に貢献。村山市のPR活動のため、ふるさと納税を利用したクラウドファンディングにご協力をお願いします◆会報誌を振り返ると、第16号から「南高生の今」を南高新聞部企画として掲載。コロナ禍でも遅く生き抜く南高生のパワーに希望と勇気をいただきました。また、社会で活躍する南高生への突撃取材によるレジェンド訪問記を掲載。第19号から南高写真部の作品展を掲載。南高との絆の再発見を目指してきました◆第13号から10年間編集担当として携わってまいりましたが、次号より編集長を交代いたします。今後も新編集長の新たな方針に則り、南高生の絆を繋ぐ会報誌を目指し常任幹事会の皆様と共に活動を推進してまいります。今後とも会報誌への要望等ご意見をお寄せください。

南高生を応援していぐべ



山形南高東京同窓会
会長 土田 和男

山形南高東京同窓会第6代会長に就任しました、土田和男です。

山形五小、山形一中出身、南高25回卒・野球部・69歳、昭和49年夏の甲子園大会、東北大会優勝（山形・宮城両県の代表）を勝ち取り、南高野球部、16年振り4度目の夏の甲子園に7番ショートで出場。

南高の大応援は私の人生の宝となって、命に刻まれております。

「お前だ3点取れ!!お前だが応援で2点取ってやる!!」この力強い応援に、予選を勝ち進むにつれ、どれだけ勇気を頂いたことか!!

愛する南高へのご恩に報いるために、60歳で東京同窓会の常任幹事の任をお受けいたしました。

今後も困難に挑戦し頑張ってる南高生・

同窓生を、皆で熱く応援し抜いて参りたい。

昨年、林部智史（南高58回卒）のコンサートを鑑賞、竹内まりやの「人生の扉」を歌ってくれました。この曲は五十路を迎えた彼女が、年齢を重ねることへの恐れや切なさを受け入れポジティブに生きていこうという強いメッセージソングです。その歌詞の英語の部分を日本語に置き換えて歌ってみました。



昭和49年夏の甲子園大応援団

50歳も悪くはないわよ
元氣な60歳になりたいわ
70歳になっても大丈夫よ
80歳になってもまだまだ楽しいわよ
90歳を過ぎてても生きてくつもりなのよ
南高の同窓会ではすべての世代と触れ合い、勇気と希望をいただけます。
若い世代の活躍の報告には皆で拍手を送り合い、先輩方の生き様は、これからの自身の生き方の手本となり、その大きな背中を教えてくださいます。

「あがすけ」について!!

南高卒業後、仙台の分校で一年間猛勉強、ようやく東京の大学に合格し上京。東京で凸版印刷に就職、45年間勤務し昨年3月卒業しました。

東北人気質の奥ゆかしさは、時に大都会の荒波を乗り越えていくには損をしていると感じます。

南高で学んだ? 「あがすけ」でいい!!
どこまでも自分らしく、個性を磨き、その個性を十分に発揮し、人生に勝利して、

南高東京同窓会を盛り上げて参りましょう

東京同窓会の皆様には、今後とも力強いご支援ご協力をお願い申し上げます。